

議会報告会報告書

開催日時	令和5年5月14日(日) 午2時00分～3時34分	
開催場所	鎌中地域交流センター (多目的ホール)	
委員会名	環境福祉委員会	
出席議員	沖 和哉委員長 松本一孝副委員長 奥出かよ子 橘 大介 殿村峰代 米倉芳周 海住恒幸	
	司会進行者	沖 和哉
	報告者	奥出かよ子 殿村峰代
	記録者	(1部)米倉芳周 (2部)奥出かよ子 橘 大介 米倉芳周
参加人数	第1部 12名、第2部 12名	
第2部 形式	ワークショップ形式 (グループ 2班)	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 山本 芳敬 様

令和5年5月29日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

環境福祉委員会

委員長 沖 和哉

第1部

【主な質疑応答・意見等】

問 ごみ屋敷条例について、ごみ屋敷と空き家(特定空き家)との違いは。

答 今回のいわゆるごみ屋敷条例制定、「住居等における不良な生活環境改善事業」については、所有者が疾患をかかえている場合が多く、その観点から支援を行い、改善していく。一方、特定空き家についても、近隣に迷惑等を伴っているが、これは、放置空き家が朽ちていく過程での問題である。共に生活環境への影響はあるが、異質のものである。

ごみ屋敷は環境部、空き家問題は建設部が窓口である。

問 民生委員が少ないとのことだが、それはなぜか。

答 報告のとおり、391名定員のところ11名少ない380名であるが、原因はボランティアの業務でありながら、業務量も多く、精神的に辛いときれるところにある。今後、業務の改善を行う必要があると考える。

意見 まず、魅力ある民生委員であるべきである。また、今後、行政に取り組んでほしい事は、現在、情報収集は委員が「取りに行く」体制であるが、個人情報なので、あらゆる面で、行政との協議による情報交換が必要であると考えます。

意見 民生委員は厚生労働省通達で厚労大臣より指名を受けるが、松阪市の一地区を受け持つので、松阪市のために行っている自覚がある。もっと身近な指名でよいのではないかと違和感を感じる。

第2部 【 テーマ:こどもの医療について 】

【主な意見等】

(グループ形式 A 班)

●A 班 窓口負担 1,000 円について

(「子ども医療費助成事業」の未就学児童における窓口負担)

(意見)

- ・ 最終的には、1,000 円は戻ってくると分かっているとしても、1,000 円が必要になると病院へ行くことに戸惑いが出る。そこが、市の医療負担軽減の狙いであろうが、その制度が松阪市だけということは、いけないと思う。
- ・ 「子育て一番宣言市」としては、残念なことだと思う。
- ・ 令和5年5月にこのことを課題とすること自体、残念なこと。窓口負担なしは当たり前のことだと思う。子育て世代が住みたくなるまちにしてほしい。
- ・ この課題は、市議会が行政に働きかけをすることが、市議会(議員)の役割である。もっと議員の力を発揮してほしい。是非、市民の意見が現実になるような市議会に。

【主な意見等】

(グループ形式 B 班)

●B 班 病児・病後保育について (一時預かり保育も含む)

(意見)

- ・ 事前登録が必要であるが、利用しにくい点もあり、この保護者等の事前登録のあり方の検討が必要ではないか。
- ・ 病児・病後児保育施設が、市街地に 2 か所しかない状況において、遠方の地域においては、利用は困難である。施設の増設・充実を願う。
- ・ どうしても保護者が対応できない場合の対応策がない。学校での預かりも今後、検討が必要ではないか。
- ・ ファミリーサポート事業において、援助会員不足の解決を図ってほしい。まず、現在の課題である報酬のアップとマッチング時の交通費の支給を願う。

- ・ 17 時まで利用時間を延長してほしい。
- ・ 一時預かり保育の無料チケットの新規事業を大いに期待したい。
- ・ 費用面での一つの提案意見ではあるが、なにもかも行政だよりでは限度があるので、それを補填する意味でも、「ファンド」の制度を組んで、例えば、ファミリーサポート援助会員等を支える資金不足の解消に役立ててほしい。

議会報告会の様子

